壇の岡

２月１６日（金）　第３８号
発行責任者
鮫川中学校長　角田敏文

実行力

できる人をよく見ると、一様に「want to（したい）行動」をとっていることに気づきます。仕事をしたい、成果を上げたい、業績を伸ばしたい。これが共通点です。

一方、できない人の行動は消極的です。仕事が好きではないが、叱られるから働くしかない。つまり「have to（しなければならない）行動」をとります。「have to」人は、最低限の行動をとるだけですから、「実行力」も低くなります。「want to」人は、自発的に行動することができます。

「have to」人は、自発的な行動を持っていないわけではありません。仕事に対する姿勢が「have to」でも、プライベートでは、「want to」の姿勢が随所に見られるはずです。単純な例で言えば、食欲がそうです。空腹を感じれば、必ず何かを食べます。言われなくても自分で作るなり飲食店に行くなりして、おなかを満たそうとします。テレビを見るのも同じです。これらは、いずれも「want to」です。

「want to」の行動を持たない人などこの世にはいないのです。問題は、いかにしてそれを目標とする行動に向けるかです。

準備万端整えて

15日（木）に福島県教育委員会から、県立高校前期志願者数が発表されました。

あとは、十八日後の学力検査と面接試験に臨むばかりです。準備は万端ですか？

ところで受験のとき、解答用紙には、出身中学校や自分の名前は書きません。ただ、自分の受験番号を書くだけです。なぜでしょうか。

それは、採点する高校の先生が、出身中学校やあなたの名前で先入観をもたないようにするためです。つまり過去のあなたではなく、今のあなたそして将来のあなたを見たいのです。

ということは、その日一度見ただけのあなたで判断されてしまうということです。その日不真面目と受け取られる態度であったり、服装・髪型であったり、どういう人間にみられるでしょうか。

あいさつやちょっとしたしぐさなどは、どんなに気をつけたつもりでもつい出てしまうものですが、当日はより一層注意してください。また、見た目でも損をしないように当日朝はチェックしてあげてください。

～今、このポイントを～

【国語】
○過去の問題をよく確かめる。
○時間配分に気を遣ってください。はじめに問題の全体を見渡し、作文や文章題にかかりそうな時間を考えてください。そして、できるところからどんどん解答してください。

【社会】
○過去問に必ずとり組むこと。過去問を最低３年分、取り組んで問題に慣れてください。
○特別なことは必要ありません。一問一答をいつでもできるように持ち歩きましょう。

【数学】
○自分のとりたい点数にあった学習をしてください。
○入試問題（1）～（3）を中心にやる人は、基礎的な内容の復習を繰り返し行ってください。実力テストや過去問をもう一度やり直してください。
○入試問題（4）～（7）を中心にやる人は、もう一度、過去問と実力テストの復習を行ってください。類題を解くのもよいかと思います。制限時間を設定してから解くようにしましょう。

【理科】
○自分が使っている問題集（進路教材等）で基礎的なことをできるようにして、過去問や実力テストを行ってください。
○入試問題は文章をじっくり読み、何を問われているのかをつかむことが大切です。あわてずきちんと読んで下さい。

【英語】
○苦手な人は英語の構文とリスニング予想メモができるよう過去問や実力テストのパターンをもう一度復習しましょう。
○過去問とこれまでの実力テストの総復習を確実にやりましょう。

週の行事予定

19	20	21	22	23
月	火	水	木	金
		NO部活動デー・おのぎりの日	卒業式全体練習	天皇誕生日 県南中学校選抜卓球強化リーグ

教育目標

学ぶ心　よく学び自己を高める生徒
美しい心　心豊かで思いやりがある生徒
強い心　心身を鍛えたくましい生徒

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。